

## 第8期

# 運用報告書(全体版)

## 日系外債オープン (為替ヘッジなし)

【2023年4月17日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
皆様の「日系外債オープン(為替ヘッジなし)」は、  
2023年4月17日に第8期決算を迎えましたので、期中  
の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。  
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し  
上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2019年4月1日から2029年4月13日までです。	
運用方針	日系外債マザーファンドⅡ(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、日本の企業およびその子会社等または政府系機関・地方自治体等の発行する外貨建債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	日系外債マザーファンドⅡ	取得時において投資適格の信用格付を取得している外貨建債券を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	日系外債マザーファンドⅡ	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年4月15日および10月15日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配)	税引前	騰落率	期騰落率	期騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
4期(2021年4月15日)	10,489	60	3.6	290.5395	3.5	89.7	—	56
5期(2021年10月15日)	10,949	70	5.1	302.9041	4.3	96.9	—	54
6期(2022年4月15日)	11,206	100	3.3	307.2077	1.4	89.6	—	53
7期(2022年10月17日)	11,991	190	8.7	330.7205	7.7	92.7	—	69
8期(2023年4月17日)	11,112	270	△5.1	321.3167	△2.8	93.6	—	91

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当該日前営業日の指数値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債組入比率	債券先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2022年10月17日	円	%	ポイント	%	%	%
	11,991	—	330.7205	—	92.7	—
10月末	11,944	△0.4	332.1786	0.4	94.3	—
11月末	11,447	△4.5	321.0538	△2.9	95.1	—
12月末	11,035	△8.0	311.3292	△5.9	91.6	—
2023年1月末	11,077	△7.6	311.2479	△5.9	86.4	—
2月末	11,386	△5.0	318.8823	△3.6	94.7	—
3月末	11,242	△6.2	317.1734	△4.1	94.9	—
(期末) 2023年4月17日	円	%	ポイント	%	%	%
	11,382	△5.1	321.3167	△2.8	93.6	—

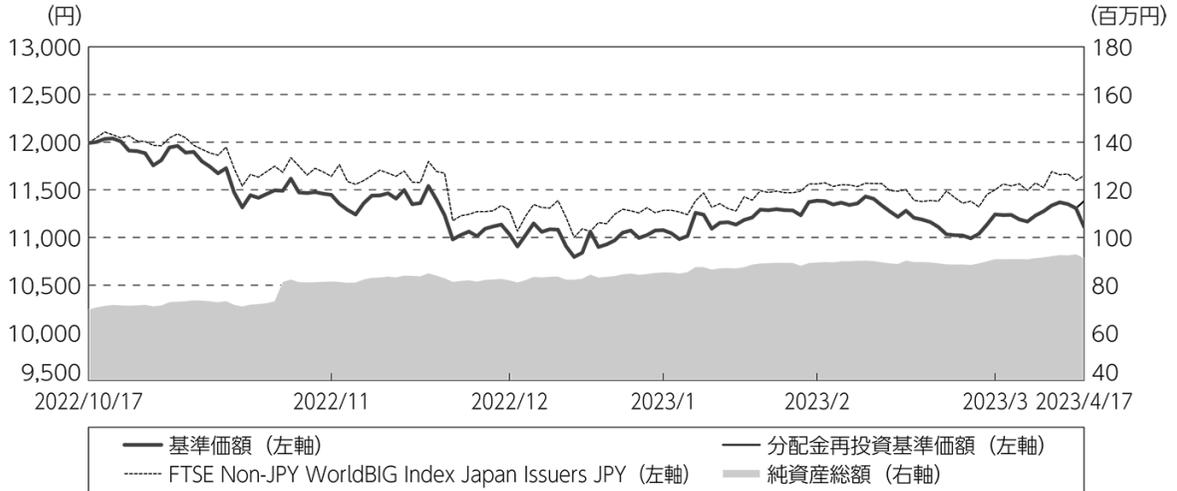
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2022年10月18日～2023年4月17日）



期首：11,991円

期末：11,112円（既払分配金（税引前）：270円）

騰落率：△ 5.1%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYです。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2022年10月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「日系外債マザーファンドⅡ」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- ・保有債券の利回り低下による債券価格の上昇がプラス要因となりました。
- ・投資対象としたユーロの対円での上昇がプラス要因となりました。

#### (主なマイナス要因)

- ・投資対象とした米ドルの対円での下落がマイナス要因となりました。

## 投資環境

（2022年10月18日～2023年4月17日）

欧米の債券市場は、期を通じて利回りが低下（債券価格が上昇）しました。経済指標の軟化等を背景に、先行きの金融緩和の織り込みが進行する展開となりました。また、2023年3月に米国の中堅銀行が経営破綻し、「質への逃避」の動きが強まったことなども、利回りの低下を促しました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、期を通じて縮小しました。金融機関の経営悪化を警戒する動きも見られましたが、全般には欧米主要中央銀行の金融引き締めペースの鈍化を受けて、投資家の利回り選好が強まる展開となりました。

為替市場については、期を通じて米ドルが対円で下落しました。米国の金利先高観が後退し、米ドルの売りが強まる展開となりました。また、2022年12月に日銀が長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）に関して、10年国債利回りの許容変動幅を拡大したことも、市場参加者に内外金利差の縮小を意識させ、米ドルの対円での下落を促しました。一方、ユーロについては、対米ドルで買いが強まった影響もあり、期を通じて対円で上昇する動きとなりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2022年10月18日～2023年4月17日）

「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入比率を概ね高位に保ちました。

実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

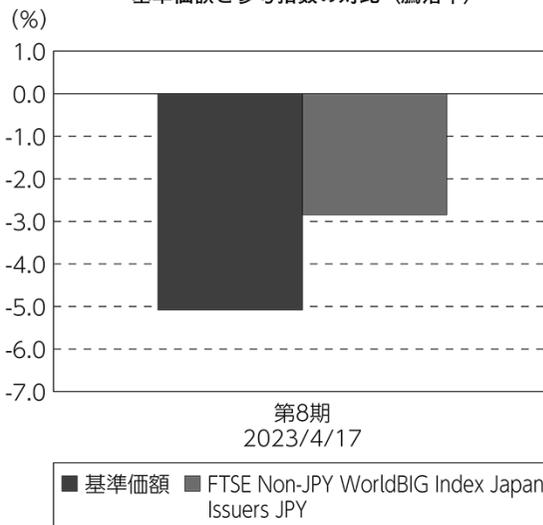
「日系外債マザーファンドⅡ」においては、日本の企業およびその子会社等が発行する外貨建債券に投資を行い、同債券の組入比率は概ね高位を保ちました。銘柄の選定にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等での魅力が高いと判断される債券に着目しました。また、当期においては、市場動向に応じてポートフォリオのデュレーションを調整しつつ、利息収入の確保に努めました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年10月18日～2023年4月17日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYの騰落率を2.3%下回りました。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYです。

## 分配金

（2022年10月18日～2023年4月17日）

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期につきましては、分配可能額、基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たり270円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第8期
	2022年10月18日～ 2023年4月17日
当期分配金	270
（対基準価額比率）	2.372%
当期の収益	184
当期の収益以外	85
翌期繰越分配対象額	1,659

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

欧米主要国の債券市場については、利回りの低下を予想します。今後も景気減速とインフレ鈍化を確認しつつ、欧米主要中央銀行の政策方針の転換を探る動きとなり、全般に利回りは低下傾向を続けると見込んでいます。

スプレッドについては、総じて横這い推移となることを予想します。先行きの景気減速を受けた企業業績の悪化と信用力低下が警戒されますが、金融政策の緩和方向への転換が投資家の利回り選好を強めることも考えられるため、全般には方向感のない展開となることを見込んでいます。

為替市場については、主要通貨が対円で概ね安定した推移となることを予想します。引き続き欧米の金利先高観の後退や、日銀の金融緩和解除による内外金利差縮小が、主要通貨の対円での上値を抑える要因になると思われる。ただ、国内経済は依然として回復力が弱く、中長期的な内外の経済成長格差を意識した本邦からの対外投資が継続すると見られることもあり、今後も円高余地は限定的と考え、全般に主要通貨は対円で下支えされると見込んでいます。

このような状況下、当ファンドの運用においては、主要な投資対象である「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。また、実質組入外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年10月18日～2023年 4月17日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	39	0.346	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(19)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(19)	(0.165)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.015	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1 )	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	41	0.361	
期中の平均基準価額は、11,355円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

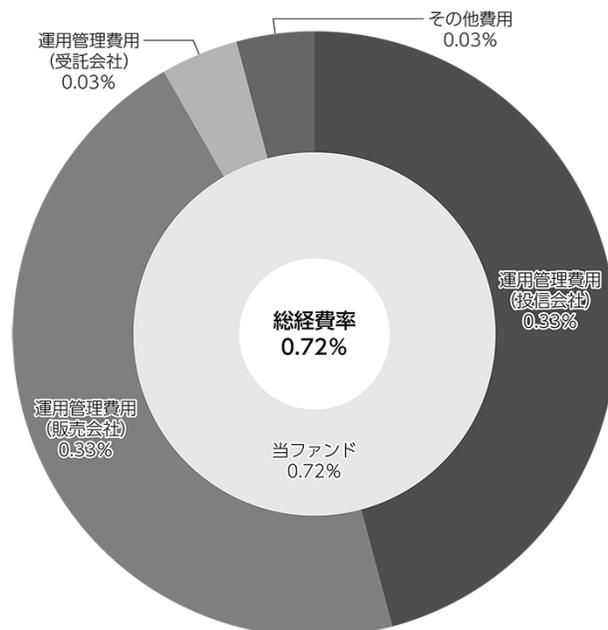
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.72%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年10月18日～2023年4月17日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日系外債マザーファンドⅡ	千口 20,534	千円 27,150	千口 1,977	千円 2,600

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年10月18日～2023年4月17日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年4月17日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日系外債マザーファンドⅡ	千口 49,711	千口 68,267	千円 90,188

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2023年4月17日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日系外債マザーファンドⅡ	千円 90,188	% 96.1
コール・ローン等、その他	3,703	3.9
投資信託財産総額	93,891	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）日系外債マザーファンドⅡにおいて、当期末における外貨建純資産（3,946,705千円）の投資信託財産総額（4,114,983千円）に対する比率は95.9%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝133.89円、1ユーロ＝147.00円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年4月17日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	93,891,899
コール・ローン等	3,703,428
日系外債マザーファンドⅡ（評価額）	90,188,471
(B) 負債	2,547,541
未払収益分配金	2,219,540
未払解約金	34,218
未払信託報酬	288,349
未払利息	3
その他未払費用	5,431
(C) 純資産総額（A－B）	91,344,358
元本	82,205,222
次期繰越損益金	9,139,136
(D) 受益権総口数	82,205,222口
1万口当たり基準価額（C／D）	11,112円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,1112円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は58,148,640円、期中追加設定元本額は31,807,592円、期中一部解約元本額は7,751,010円です。

○損益の状況（2022年10月18日～2023年4月17日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 181
受取利息	2
支払利息	△ 183
(B) 有価証券売買損益	△ 2,908,851
売買益	453,522
売買損	△ 3,362,373
(C) 信託報酬等	△ 293,782
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 3,202,814
(E) 前期繰越損益金	6,639,288
(F) 追加信託差損益金	7,922,202
（配当等相当額）	（ 7,599,082）
（売買損益相当額）	（ 323,120）
(G) 計（D＋E＋F）	11,358,676
(H) 収益分配金	△ 2,219,540
次期繰越損益金（G＋H）	9,139,136
追加信託差損益金	7,922,202
（配当等相当額）	（ 7,708,142）
（売買損益相当額）	（ 214,060）
分配準備積立金	5,934,953
繰越損益金	△ 4,718,019

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

	決算期	第8期
(a) 配当等収益（費用控除後）		1,515,205円
(b) 有価証券等損益額（費用控除後、繰越欠損金補填後）		0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金		7,708,142円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金		6,639,288円
分配対象収益（a＋b＋c＋d）		15,862,635円
分配対象収益（1万口当たり）		1,929円
分配金額		2,219,540円
分配金額（1万口当たり）		270円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税引前）	270円
支払開始日	2023年4月21日（金）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

### <お知らせ>

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2023年4月17日現在）

<日系外債マザーファンドⅡ>

下記は、日系外債マザーファンドⅡ全体(3,114,712千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	24,923	23,394	3,132,282	76.1	—	63.7	—	12.4
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
オランダ	2,000	1,857	273,011	6.6	—	3.1	3.5	—
日本	3,600	3,375	496,268	12.1	—	3.0	5.0	4.1
合 計	—	—	3,901,562	94.8	—	69.9	8.5	16.4

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

日系外債オープン（為替ヘッジなし）

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	特殊債券 (除く金融債)	DEV BANK JAPAN 1.25	1.25	1,000	814	109,026	2031/1/28
		JAPAN BANK COOP 1.875	1.875	1,982	1,678	224,789	2031/4/15
	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASAHI MUTUAL LIF 6.5	6.5	1,200	1,188	159,122	—
		ASAHI MUTUAL LIF 6.9	6.9	800	785	105,209	—
		CENT JAPAN RAIL 4.25	4.25	1,000	891	119,326	2045/11/24
		DAI-ICHI LIFE 4	4.0	800	756	101,273	—
		DAI-ICHI LIFE 5.1	5.1	1,200	1,178	157,753	—
		FUKOKU MUTUAL 5	5.0	800	775	103,819	—
		FUKOKU MUTUAL 6.5	6.5	1,200	1,195	160,073	—
		KOMATSU FIN AMER 0.849	0.849	850	834	111,739	2023/9/9
		MEIJI YASUDA LIF 5.2	5.2	1,891	1,855	248,370	2045/10/20
		MITSUI SUMITOMO 4.95	4.95	1,200	1,155	154,755	—
		MIZUHO FIN GROUP 4.6	4.6	1,000	986	132,099	2024/3/27
		MUFU BANK LTD 4.7	4.7	1,000	926	123,995	2044/3/10
		NIPPON LIFE INS 5.1	5.1	1,800	1,765	236,321	2044/10/16
		SUMITOMO LIFE 4	4.0	1,000	936	125,437	2077/9/14
		SUMITOMO LIFE 6.5	6.5	1,200	1,195	160,044	2073/9/20
		SUMITOMO MITSUI 4.436	4.436	1,200	1,186	158,873	2024/4/2
		TAKEDA PHARM 3.025	3.025	1,000	769	103,060	2040/7/9
		TAKEDA PHARM 3.175	3.175	1,000	710	95,071	2050/7/9
TOYOTA MTR CRED 4.7	4.7	1,000	1,013	135,757	2033/1/12		
TOYOTA TSUSHO 3.625	3.625	800	794	106,360	2023/9/13		
小	計				3,132,282		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	JT INTL FIN SERV 2.875	2.875	1,000	863	126,969	2083/10/7
		TOYOTA MOTOR FIN 3.375	3.375	1,000	993	146,041	2026/1/13
日本	特殊債券 (除く金融債)	JPN FIN ORG MUNI 3.375	3.375	1,400	1,396	205,330	2028/2/22
	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASAHI GROUP 0.155	0.155	1,200	1,134	166,777	2024/10/23
		EAST JAPAN RAIL 1.85	1.85	1,000	844	124,160	2033/4/13
小	計				769,280		
合	計				3,901,562		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 変動利付債の利率は、期末における利率です。

(注) 償還年月日が「—」表示の銘柄は永久債です。

日系外債マザーファンドⅡ  
第5期 運用状況のご報告  
決算日：2023年1月16日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦の企業およびその子会社等（海外子会社等を含みます。）または政府系機関・地方自治体等の発行する、主に米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	取得時において投資適格の信用格付を取得している外貨建債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	期騰	期中落率	期騰	期中落率			
(設定日) 2018年1月31日	円 10,000	% —	ポイント 251.9706	% —	% —	% —	百万円 878
1期(2019年1月15日)	9,962	△ 0.4	253.2220	0.5	98.1	—	898
2期(2020年1月15日)	11,114	11.6	275.5717	8.8	95.8	—	2,247
3期(2021年1月15日)	11,199	0.8	280.8471	1.9	97.6	—	1,879
4期(2022年1月17日)	12,249	9.4	297.9597	6.1	95.1	—	2,148
5期(2023年1月16日)	12,502	2.1	303.4378	1.8	94.8	—	2,093

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは当該日前営業日の指数値です。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2022年 1 月17日	円 12,249	% —	ポイント 297.9597	% —	% 95.1	% —
1 月末	12,249	0.0	298.7172	0.3	95.9	—
2 月末	12,000	△ 2.0	294.4990	△ 1.2	95.7	—
3 月末	12,499	2.0	303.7967	2.0	94.9	—
4 月末	12,836	4.8	309.8421	4.0	96.1	—
5 月末	12,738	4.0	309.7962	4.0	97.6	—
6 月末	13,222	7.9	322.6551	8.3	92.6	—
7 月末	13,164	7.5	322.4340	8.2	95.0	—
8 月末	13,493	10.2	325.2459	9.2	95.7	—
9 月末	13,712	11.9	325.6846	9.3	93.9	—
10 月末	13,833	12.9	332.1786	11.5	95.2	—
11 月末	13,254	8.2	321.0538	7.8	95.9	—
12 月末	12,778	4.3	311.3292	4.5	92.2	—
(期 末) 2023年 1 月16日	12,502	2.1	303.4378	1.8	94.8	—

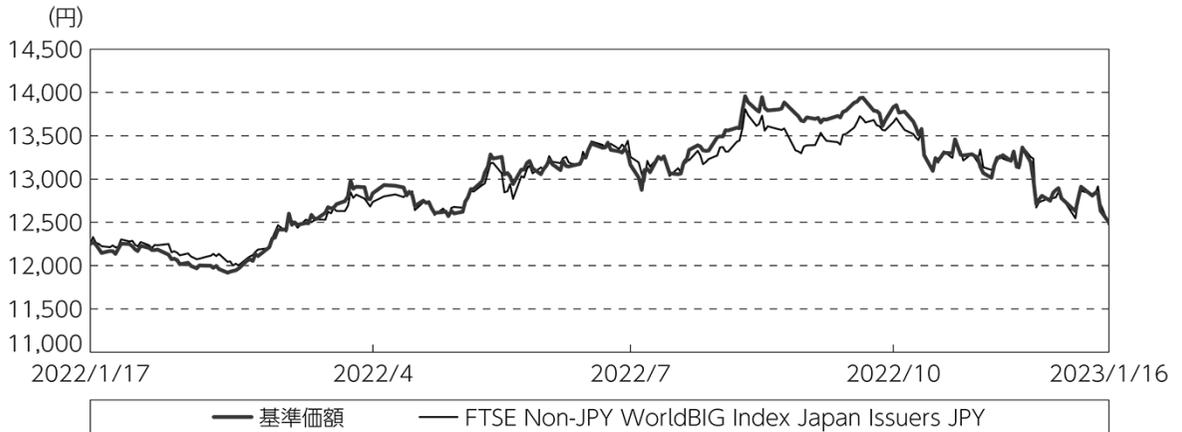
(注) 騰落率は期首比。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2022年1月18日～2023年1月16日)



(注) 参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYです。

(注) 参考指数は、期首(2022年1月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- ・主要通貨の対円での上昇がプラス要因となりました。

#### (主なマイナス要因)

- ・保有債券の利回り上昇による債券価格の下落がマイナス要因となりました。

**投資環境**

(2022年1月18日～2023年1月16日)

欧米の債券市場は、期を通じて利回りが上昇（債券価格が下落）しました。各国・地域での物価上昇圧力の高まりを受けて、欧米主要中央銀行が急速な金融引き締めに向けたことなどから、全般に売り圧力が強まる展開となりました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、期を通じて拡大する動きとなりました。各国・地域での金融引き締めを背景に、社債市場からの資金流出が強まる展開となりました。ただ、期末にかけては、金融引き締めペースの鈍化を受けて、投資家の利回り選好が回復し、スプレッドが縮小する場面も見られました。

為替市場については、期を通じて主要通貨が対円で上昇しました。欧米の金利先高観の高まり等を背景に、主要通貨の対円での買いが優勢となりました。ただ、期末にかけては、日銀が長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）に関して、10年国債利回りの許容変動幅を拡大したことから、日本の金利上昇による内外金利差縮小を意識した動きが急速に強まり、主要通貨が対円で上げ幅を縮小する場面も見られました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2022年1月18日～2023年1月16日)

債券組入比率は概ね高位を維持し、利息収入の確保に努めました。ポートフォリオのデュレーションは、市場動向に応じて調整し、当期末時点では3.75年程度としました。投資する銘柄の選択にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等の魅力が高いと判断される債券に着目しました。また、当期は米ドル、およびユーロ、イギリスポンドの各通貨建て債券への投資を行っていましたが、イギリスポンド建て債券につきましては、2022年10月に保有債券を全て売却しました。

組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2022年1月18日～2023年1月16日)

当期間における当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数であるFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYの騰落率を0.3%上回る結果となりました。

**今後の運用方針**

欧米の債券市場については、概ね横這い推移となることを予想します。引き続きインフレ抑制を最優先とする欧米主要中央銀行の金融引き締めを受けて、売り圧力が続くと考えられる一方、先行きの景気減速と金融緩和への政策転換を見越した買いも想定されるため、全般には売買が交錯して方向感の出難い展開となることを見込んでいます。

スプレッドについては、総じて安定した動きとなることを予想します。先行きの景気減速と発行体企業の信用力低下が警戒されますが、全般に格付け水準が高い日本企業の財務状況は健全と考えられることなどから、スプレッドの拡大余地は限定的と見えています。また、欧米主要中央銀行の政策転換を見越した社債投資が想定されることもあり、全般にスプレッドは安定した動きとなることを見込んでいます。

為替市場は、徐々に主要通貨が対円で底堅い推移となることを予想します。当面は日銀の金融緩和と縮小による国内金利の上昇を受けた円買いが入り、主要通貨が対円で上値の重い動きとなることが想定されます。しかし、今後も国外の高い経済成長率を期待した動きが続くと考えられることもあり、次第に海外投資に伴う円売りが優勢となり、主要通貨の対円相場は下支えされると見込んでいます。

このような状況下、当ファンドの運用においては、債券組入比率を高位に維持し、利息収入を主な収益源として、安定したパフォーマンスの実現を目指す方針です。ポートフォリオのデュレーションは、市場動向に応じて調整を図ります。また、各国・地域の市場動向等を勘案し、イギリスポンド建て債券への投資再開を含め、状況に応じて各通貨建て債券への投資比率の調整も検討します。

○1万口当たりの費用明細

(2022年1月18日～2023年1月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(3)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	3	0.020	
期中の平均基準価額は、12,981円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年1月18日～2023年1月16日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	特殊債券	千米ドル 3,776	千米ドル 3,238
		社債券（投資法人債券を含む）	8,900	8,882
	ユーロ	社債券（投資法人債券を含む）	千ユーロ 600	千ユーロ -
		日本	特殊債券	633
	イギリス	社債券（投資法人債券を含む）	456	957
		社債券（投資法人債券を含む）	千イギリスポンド -	千イギリスポンド 185

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年1月16日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期 末						
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 14,200	千米ドル 13,563	千円 1,734,981	% 82.9	% —	% 75.6	% —	% 7.2
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
オランダ	1,600	1,461	202,594	9.7	—	5.7	4.0	—
日本	400	346	47,993	2.3	—	2.3	—	—
合 計	—	—	1,985,569	94.8	—	83.6	4.0	7.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

日系外債マザーファンドⅡ

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	額面金額	当 期 末		償還年月日	
				評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	特殊債券 (除く金融債)	JAPAN BANK COOP 1.875	1.875	1,000	843	107,914	2031/4/15
	普通社債券 (含む投資法人債類)	ASAHI MUTUAL LIF 6.5	6.5	1,200	1,196	153,014	—
		CENT JAPAN RAIL 4.25	4.25	1,000	888	113,686	2045/11/24
		DAI-ICHI LIFE 5.1	5.1	1,200	1,173	150,097	—
		FUKOKU MUTUAL 6.5	6.5	1,200	1,197	153,120	—
		MEIJI YASUDA LIF 5.2	5.2	1,200	1,170	149,789	2045/10/20
		MITSUI SUMITOMO 4.95	4.95	1,200	1,126	144,054	—
		MUFU BANK LTD 4.7	4.7	1,000	916	117,273	2044/3/10
		NIPPON LIFE INS 5.1	5.1	1,200	1,175	150,354	2044/10/16
		SOMPO JAPAN INS 5.325	5.325	1,200	1,196	153,104	2073/3/28
		SUMITOMO LIFE 6.5	6.5	1,200	1,198	153,304	2073/9/20
	SUMITOMO MITSUI 4.436	4.436	1,200	1,183	151,344	2024/4/2	
	TAKEDA PHARM 3.175	3.175	400	296	37,924	2050/7/9	
小	計					1,734,981	
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債類)	JT INTL FIN SERV 2.875	2.875	1,000	859	119,212	2083/10/7
		TOYOTA MOTOR FIN 3.375	3.375	600	601	83,381	2026/1/13
日本	普通社債券 (含む投資法人債類)	EAST JAPAN RAIL 1.85	1.85	400	346	47,993	2033/4/13
小	計					250,588	
合	計					1,985,569	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 変動利付債の利率は、期末における利率です。

(注) 償還年月日が「—」表示の銘柄は永久債です。

○投資信託財産の構成

(2023年1月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,985,569	% 91.1
コール・ローン等、その他	193,435	8.9
投資信託財産総額	2,179,004	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,036,090千円)の投資信託財産総額(2,179,004千円)に対する比率は93.4%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=127.92円、1ユーロ=138.64円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,334,309,135
コール・ローン等	163,851,317
公社債(評価額)	1,985,569,969
未収入金	157,554,296
未収利息	26,624,512
前払費用	709,041
(B) 負債	240,652,392
未払金	240,652,182
未払利息	71
その他未払費用	139
(C) 純資産総額(A-B)	2,093,656,743
元本	1,674,643,403
次期繰越損益金	419,013,340
(D) 受益権総口数	1,674,643,403口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,502円

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,2502円です。
- (注) 当ファンドの期首元本額は1,754,340,674円、期中追加設定元本額は1,067,929,622円、期中一部解約元本額は1,147,626,893円です。
- (注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
- |                                  |              |
|----------------------------------|--------------|
| リスク抑制型・4資産バランスファンド(愛称 にいがた創業応援団) | 765,908,379円 |
| くまもと未来応援ファンド(愛称 復興投信)            | 718,647,922円 |
| 日系外債オープン(為替ヘッジあり)                | 125,144,158円 |
| 日系外債オープン(為替ヘッジなし)                | 64,942,944円  |

○損益の状況 (2022年1月18日～2023年1月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	103,669,267
受取利息	103,675,473
その他収益金	21,018
支払利息	△ 27,224
(B) 有価証券売買損益	△ 22,436,923
売買益	281,333,012
売買損	△303,769,935
(C) その他費用等	△ 493,296
(D) 当期損益金(A+B+C)	80,739,048
(E) 前期繰越損益金	394,637,021
(F) 追加信託差損益金	302,590,378
(G) 解約差損益金	△358,953,107
(H) 計(D+E+F+G)	419,013,340
次期繰越損益金(H)	419,013,340

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

該当事項はございません。